

全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース 4月号 (No.233)

2023年4月28日

162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ 3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

経営懇役員リレーエッセイ

職場の仲間や保護者・子どもたちに支えられ、今の自分がある

安川信一郎（東京・（福）多摩福祉会）

将来は福祉関係の仕事に就きたいと日本福祉大学で学び、就職活動では養護学校の教員にチャレンジしました。が、すべて惨敗。そんな時、ゼミの教授から、東京の多摩福祉会で保母を募集しているから受けてみればと声を掛けられ、保育士資格もないまま、子どもと過ごすのも悪くないかなという軽い気持ちで面接を受け、「保母」として働くことになりました。

当時は、現在の「保育士」ではなく「保母」。保育の仕事は「女性がするもの」。でも両親は、自分がやりたいことをすればいい、と応援してくれました。今でも感謝しています。

男性のため保母資格が取れず、無資格で働くことになりました。大学時代に保育の授業を受けたことも、保育所実習の経験もないまま、子ども達と向き合う日々が始まりました。1年目は2歳児のトコトコ組（1番月齢の低いクラス）。まだ複数担任だったので、助けてもらいながら1年が過ぎていきました。

2年目は2歳児から持ち上がりのナゼナゼ組。低月齢18人の担任となりました。確かその当時の体制は、各クラスに担任1名と有期雇用職員が午前・午後各1名だったかと思います。休憩時間もあまりとれず、子どもと一緒に食事をしてすぐに午睡の準備（早食いは職業病だと思っています）、とまさに地獄の時間。子どもがグズグズしていると「早くしなさい!」「何しているの!」という私の声が部屋中に響いていました。まさに不適切保育。ある時、M君がなかなか着替えないので、切れてしまった私は「もういい、外に出ていなさ

い」と一喝。すると、M君は雨の降っている外に飛び出して行きました……。慌てて呼び戻す自分がいました。散歩に行く時も「散歩に行くから片付けて」の声掛けに、片付ける子もいましたが、まだまだ遊びたい子どもたちも。そんな子どもに対しては「なんで、片付けないの!」と自分の気持ちだけで子どもを動かそうとしていました。

今でこそ、職員には「子どもの気持ちに寄り添った保育を、子どもの思いを共有しよう」と話していますが、その当時は、自分の思った通りに子ども達を動かす保育をしていました。ですから保育も楽しくなく、保育園に行くのがイヤで、登校拒否ならぬ出勤拒否になっていました。

保育園での虐待や不適切な対応がクローズアップされています。あってはいけないことですが、一つ間違えば自分も同じようなことをしていたのではと考えてしまいます。すべてを個人の責任に帰すのではなく、様々な要因（職場関係、制度問題など）を含めて、私たちが考え行動しなければならぬことが、たくさんあると思います。

保育の世界で働きだして半世紀近くになります。本当に様々な失敗（挙げればきりがありません）をしてきましたが、職場の仲間や保護者、そして何よりも子どもたちに支えてもらい今の自分があるように思っています。



ここの間の活動・動き

●職員配置基準アンケート報告

1月～2月にかけて実施した、職員配置基準アンケート結果についてご報告します。

全体の回答数は、2171通。回答数最多都道府県は、東京都336通（15%）、次いで多かったのが沖縄県306通（14%）でした。

期間：第1次 2023年1月8日～31日

第2次 2月1日～15日

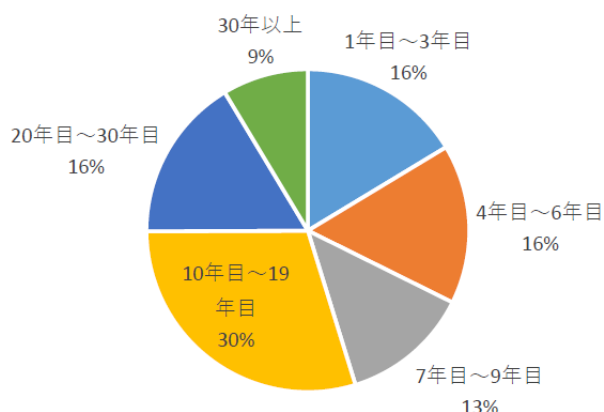
質問2 職種を教えてください。

職種	回答数	率
保育士	1591	73%
保育園園長	299	14%
看護師	35	2%
給食職員	82	4%
保育補助	64	3%
その他	100	4%
合計	2171	100%

質問3 現在の職種の経験年数を教えてください。

経験年数	回答数	率
1年目～3年目	355	16%
4年目～6年目	347	16%
7年目～9年目	280	13%
10年目～19年目	645	30%
20年目～30年目	357	16%
30年以上	187	9%
合計	2171	100%

経験年数



質問1 都道府県を教えてください。

八地方地区	県名	回答数	率(都道府県)	率(八地方地区)
北海道	北海道	38	2%	2%
東北	青森県	4	0%	4%
	岩手県	5	0%	
	宮城県	16	1%	
	秋田県	16	1%	
	山形県	27	1%	
	福島県	29	1%	
関東	茨城県	6	0%	33%
	栃木県	17	1%	
	群馬県	32	1%	
	埼玉県	89	4%	
	千葉県	59	3%	
	東京都	336	15%	
	神奈川県	169	8%	
	新潟県	5	0%	14%
中部	富山県	3	0%	
	石川県	2	0%	
	福井県	7	0%	
	山梨県	4	0%	
	長野県	2	0%	
	岐阜県	5	0%	
	静岡県	206	9%	
	愛知県	80	4%	13%
近畿	三重県	1	0%	
	滋賀県	9	0%	
	京都府	41	2%	
	大阪府	183	8%	
	兵庫県	48	2%	
	奈良県	5	0%	
	和歌山県	0	0%	
中国	鳥取県	30	1%	10%
	島根県	7	0%	
	岡山県	10	0%	
	広島県	99	5%	
	山口県	78	4%	2%
四国	徳島県	16	1%	
	香川県	13	1%	
	愛媛県	21	1%	
	高知県	1	0%	21%
九州・沖縄	福岡県	79	4%	
	佐賀県	1	0%	
	長崎県	31	1%	
	熊本県	14	1%	
	大分県	2	0%	
	宮崎県	7	0%	
	鹿児島県	12	1%	
	沖縄県	306	14%	
	合計	2171	100%	100%

質問4 勤務施設を教えてください。

勤務施設	回答数	率
私立保育所	1707	79%
公立保育所	127	6%
認定こども園	136	6%
地域型保育事業	46	2%
企業主導型保育事業	47	2%
幼稚園	13	1%
その他	95	4%
合計	2171	100%

国に求める配置基準（質問 5～10）

質問 5

0歳児	回答数	率
3対1(国基準)	300	14%
2対1	1746	80%
1対1	125	6%
合計	2171	100%

質問 6

1歳児	回答数	率
6対1(国基準)	114	5%
5対1	139	6%
4対1	781	36%
3対1	1015	47%
2対1	122	6%
合計	2171	100%

質問 7

2歳児	回答数	率
6対1(国基準)	267	12%
5対1	746	34%
4対1	897	41%
3対1	232	11%
2対1	29	1%
合計	2171	100%

質問8

3歳児	回答数	率
20対1(国基準)	113	5%
19対1	5	0%
18対1	22	1%
17対1	5	0%
16対1	14	1%
15対1	412	19%
14対1	12	1%
13対1	27	1%
12対1	195	9%
11対1	7	0%
10対1	867	40%
9対1	25	1%
8対1	194	9%
7対1	95	4%
6人以下	178	8%
合計	2171	100%

質問 9

4歳児	回答数	率
30対1(国基準)	95	4%
29対1	1	0%
28対1	8	0%
27対1	5	0%
26対1	3	0%
25対1	66	3%
24対1	13	1%
23対1	3	0%
22対1	10	0%
21対1	6	0%
20対1	414	19%
19対1	4	0%
18対1	59	3%
17対1	8	0%
16対1	20	1%
15対1	690	32%
14対1	16	1%
13対1	24	1%
12対1	157	7%
11対1	6	0%
10対1	388	18%
9対1	18	1%
8対1	81	4%
7対1	76	4%
合計	2171	100%

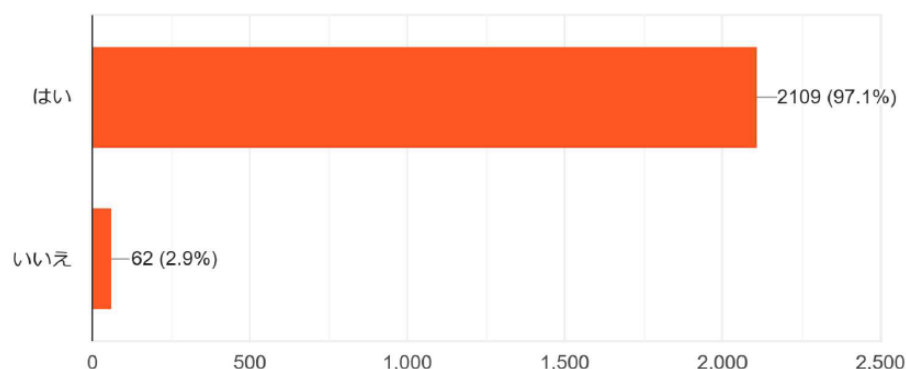
質問 10

5歳児	回答数	率
30対1	122	6%
29対1	1	0%
28対1	11	1%
27対1	0	0%
26対1	5	0%
25対1	176	8%
24対1	11	1%
23対1	8	0%
22対1	12	1%
21対1	8	0%
20対1	593	27%
19対1	4	0%
18対1	54	2%
17対1	11	1%
16対1	16	1%
15対1	602	28%
14対1	17	1%
13対1	17	1%
12対1	113	5%
11対1	3	0%
10対1	287	13%
9対1	14	1%
8対1	42	2%
7対1	44	2%
合計	2171	100%

配置基準の要望のまとめ

- ・ 0歳児 2：1（1760名・80%） ・ 1歳児 3：1（1015名・47%） ・ 2歳児 4：1（897名・41%）
- ・ 3歳児 10：1（867名・40%） ・ 4歳児 15：1（690名・32%） ・ 5歳児 15：1（602名・28%）

質問 1 1 職員配置は「保育所全体で必要な保育士...はい」か「いいえ」のどちらかを選んで下さい。
2,171 件の回答

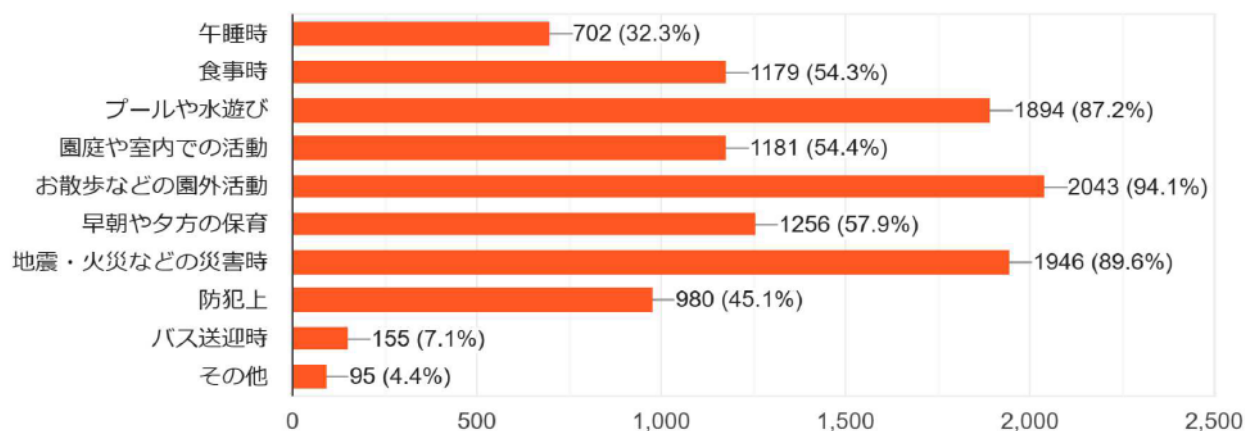


質問 11

【職員配置は「保育所全体で必要な保育士数（保育士定数）」となっていますが、「年齢別クラス編成やクラスに配置すべき保育士数」に改善する必要があると思いますか？ 「はい」か「いいえ」のどちらかを選んでください】

9 割以上の職員が改善する必要があると感じている。

質問 1 2 国の職員配置基準で子どもの命と安全を...すか？ 特に危険と思う場面を 5 つ選んで下さい。
2,171 件の回答



質問12

【国の配置基準で子どもの命と安全を守れないと思う場面がありますか？ 特に危険と思う場面を5つ選んで下さい。】

9割以上の職員がお散歩などの園外活動で子どもの命と安全を守れないと感じている。プールや水遊びも9割と、日常的に行われる保育活動において、現行の配置基準では危険を感じながら保育を行っていることがわかる。地震・火災など災害時も9割と命の危険が迫る場面で命を守れないと感じていることから、現行の配置基準では絶対的に職員配置数が不足していることがわかる。

質問13

【質問12で「その他」を選んだ方はどういう場面で危険と思うかを教えて下さい。】

103の回答を、「①特に配慮が必要な子への対応の場面」「②けが・病気の対応場面」「③排泄の場面」「④保護者対応の場面」「⑤行事」「⑥時差勤務・勤務調整による職員減の場面」「⑦質問12の全て・保育時間のすべて」「⑧その他の場面」「⑨その他」の9場面に分類し、1回答に分類した項目が複数含まれる場合は、1回答を複数に分類した。結果、113の回答数となった。

①③を⑦と同じ場面とした場合には、全体の4割と半数近くが保育中の全ての場面で常に命の危険を感じているという状態にあることがわかる。

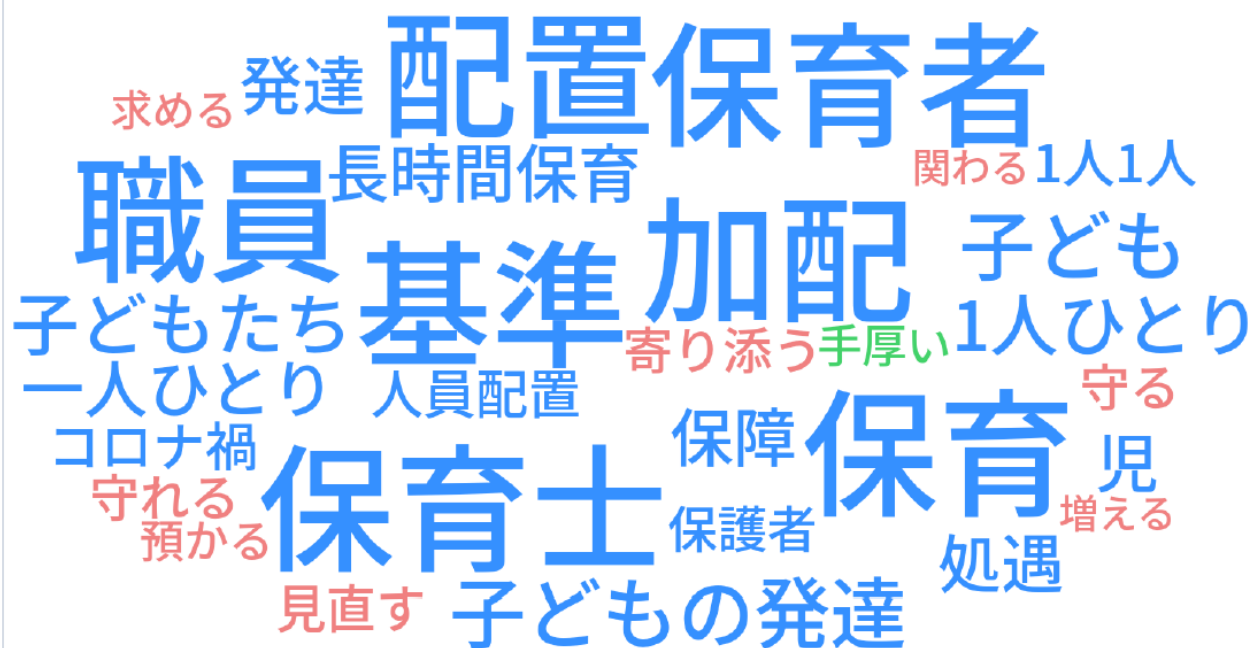
分類別にみると、⑨の次に多いのが⑥の16%と、職員の時差勤務や休みにより職員数が少ない時間帯や土曜日などに子どもが一定数いる場合に危険を感じていることがわかる。保育所が基本一日11時間保育を実施していながら、その時間数に見合った職員体制がとれないことによるものであることがわかる。

アンケートの拡散、ご協力、ありがとうございました。

3月17日の厚労省・内閣府懇談では、説得力ある資料として受けとめる姿勢が見られました。全国各地からのアンケートの成果です。

自由記述 保育園の職員配置基準について感じる事など自由にご記入ください。

1168名からの自由記述への記入があった。自由記述の文章や文節や単語に分けて、それぞれの出現頻度や相関関係などを分析した。



保育をめぐる情勢

●こども家庭庁スタート

4月1日、こども家庭庁がスタートしました。こども家庭庁は、長官をトップに、長官官房、成育局、支援局の1官房2局体制で構成されます。保育に関しては、成育局が主に担当することとなるようです。成育局には、総務課・

保育政策課・成育基盤企画課・成育環境課・母子保健課・安全対策課等が置かれ、保育所に関わる部署は主に保育政策課となる模様です。

こどもまんなか社会の実現をうたい、スタートしたこども家庭庁。本当にこどもを尊重する施策を実行させるよう、継続した働きかけが求められています。

●こども・子育て政策の強化 (試案)に配置基準改善が明 記されるが、内容は不十分！

3月31日、政府は、「こども・子育て政策の強化について(試案)」を発表しました。これは、岸田首相が明言したこども関係予算の倍増や「異次元の少子化対策」のたたき台として、まとめられたものです。こども・子育て政策を抜本的に強化し少子化傾向を反転させるために、今後3年間で加速化してとりくむ政策とめざす将来像を取りまとめた、としています(同封資料参照)。

保育に関する政策

○職員配置基準の改善

1歳児は6対1から5対1、4・5歳児は30対1から25対1へと改善する。

○保育士等の更なる処遇改善

○「こども誰でも通園制度(仮称)」の創設

すべてのこどもの育ちを応援し、すべての子育て家庭への支援を強化するため、就労要件を問わず利用できる通園給付創設を検討する。当面は未就園児のモデル事業の拡充、病児保育の充実をはかる。

以上が保育関連の政策としてあげられました。

今後、首相の下に新たな会議「こども未来戦略会議」を設置し検討をすすめ、6月に示す骨太方針では、将来的なこども予算倍増に向けた大枠を示す、としています。

試案の実減やさらなる改善に向けて

基準改善が、政府の試案に明記されたことは前進である、と言えます。しかし、そもそも今回提起された内容は、現場が求める水準には程遠く、改善を実感できるレベルではありません。さらに、試案通り配置基準改善が実現するか、財源確保も含め、まだはつきりしません。また、保育士の確保が難しいこと等を理由に、当面加算での対応と

するとの国会答弁もありました。あらためて、「加算ではなく配置基準の改善を」の声をあげていくことが求められています。

「こども誰でも通園制度(仮称)」の創設についても、どのように考えればいいのか、議論を深めつつ、子どもの保育を受ける権利が公的に保障されるよう、現場から、要望をあげ続けることが求められています。

●児童福祉施設への監査、実地検査を原則としつつ例外規定を設け、規制緩和へ…

保育所等の児童福祉施設への指導監査は実地で検査しなければならない、とされてきましたが、実地でなくても検査実施を認めるとする規制緩和が、2023年4月1日より行われることとなりました。

この件では、3回にわたりパブリックコメントが実施されました。意見は、1回目280件、2回目528件、3回目232件と多数寄せられ、安全や保育の質確保のため、監査実施率の向上や実地検査の継続・拡充を求める意見がほとんどでした。

国は、実地検査の実施率が低いことや送迎バスでの置き去り死亡事故なども受けて、指導監査の実効性を高める必要があることを認めています。そのうえで、原則は実地としながらも、以下の、

- ・天災等のやむを得ない場合
 - ・前年度の実地検査の結果
 - ・施設所在する都道府県の前年度の実地検査の実施状況が5割を超えること
 - ・施設設置から3年以上経過していること
- を勘案すれば、実地での検査をしなくてもよい、としました。

こども家庭庁を創設した今こそ、国は、子どもの安全管理や適切な保育・支援が実施されている

か指導監督する責任を重く受けとめ、自治体に対し実地検査の実施方針を示し、実施できるよう支援を強化すべきと考えます。検査体制の強化として人員増も予定されていますが、不十分です。

今後は、この問題を管轄することも家庭庁に対し、検査体制の強化等を求めると同時に、自治体に対しても、要望を届けることが重要です。

●小規模保育事業、3 歳以上児の受け入れについて、こども家庭庁が通知

4 月 21 日付で、こども家庭庁成育局長より「小規模保育事業における 3 歳以上児の受け入れについて（通知）」が出されました（同封資料参照）。

小規模保育事業は、保育を必要とする 0～2 歳までの乳幼児が対象ですが、保育体制の整備状況やその他の地域の実情によっては、3 歳以上児を受け入れることができる、とされています（児童福祉法第 6 条の 3 第 10 項第 2 号の規定）。

この通知では、「事業者向け FAQ 第 7 版」を改正し、「満 3 歳以上の幼児を受け入れることについて、市町村がニーズに応じて柔軟に判断できる」ようにした、としています。

基準の低い小規模保育事業で 3 歳以上児も！？

小規模保育事業は、2015 年からスタートした子ども・子育て支援新制度において、地域型保育事業の中の一形態として位置づけられています。広いスペースを確保することが難しい都市部や、待機児童が多い地域で小規模保育事業が広がってきました。小規模保育事業は、有資格者の配置割合や給食の外部搬入など、施設・設備の基準が認可保育所に比べ低くなっており、運営費も低く抑えられています。

そうした条件の小規模保育事業で、3 歳以上児を受け入れることは、保育の格差を広げることになりかねません。国も、食事や午睡等の環境を保

つことや、同年代の子どもとの交流・遊びを体験できる環境の整備等を留意するよう求めています。ですが、そもそも基準が低い条件の下では限界があり、そこでの保育に格差が生じることは当然と言えます。

テレビ・新聞等では、3 歳になったら転園する必要がある子ども・保護者にとって負担になっていたことが解消される、選択肢が増えるといった報道もされています。しかし、そもそも、転園しなければならない仕組みを国がつくったため、子ども・保護者の負担がうまれた、と言えます。また、今回の通知がなくても、人口減少など、地域の事情によっては、小規模保育事業での 3 歳以上児を受け入れることができることは変わっていません。なぜこの通知が出され、大きく取り上げられているのか、不明です。

子どもにとっては、就学前まで継続して通い、子ども同士や大人と安定した関係をつくれるような保育環境が必要です。少子化で 0 歳児の定員割れが問題になりつつある現在、その地域の子どもたちに安定した保育環境をどう保障するのか課題です。地域の事情に応じた保育施策となるよう、小規模保育事業も含め、自治体との協議や懇談等が重要になっています。

自治体単独補助の状況は！？ ～各地の情報をお寄せください～

新年度、自治体で新たな単独補助等の動きはないでしょうか？横浜市では、市の配置基準に加えて、追加で配置する保育士等（主に非常勤職員）に関する助成単価を拡充する等、改善点があったとの情報が届いています。各地の情報を交流し、自治体との懇談等に活用しましょう。情報をお寄せください。

おしらせ

●2023 年度活動日程

今年度の主な活動日程は下記の通りです。ぜひ、ご予約ください。

<総会>

6 月 26 日（月）

東京・保育プラザ+Zoom

<夏季セミナー>

9 月 11 日（月）

東京・第一ホテル両国+Zoom

<主任セミナー> ※対面開催を予定

11 月 16～17 日（木～金）

愛知・ロワジールホテル豊橋

<経営研究セミナー>

2024 年 1 月 8～10 日（月～水）

滋賀・ホテル&リゾート長浜+Zoom

*詳細は今後検討し、お知らせします。

●よいよい保育を実行委員会 配置基準改善の緊急署名 広げてください！

配置基準改善を求める声を届けるために、よいよい保育を！実行委員会では、「配置基準を今すぐ改善緊急署名」を実施しています。

Web、もしくは署名用紙で、配置基準改善を求める声を広げましょう。

Web 署名はこちら↓



【経営懇・活動日誌】4月

○4月4日（火）事務局会議（森山・安川・川端）

○4月7日（金）臨時三役会。2023 年度総会に向けて（今総会で議論したいことなどを検討）

○4月14日（金）組織検討 PT 会議。

○4月15日（土）第 55 回合研会場下見（合研常任実行委員会として）

○4月17日（月）研修部会（2023 年度のセミナー日程、分担を決める）。

○4月17日（月）三役会（定例会議）。

○4月22日（土）全保連常任幹事会・合研常任実行委員会。

○4月27日（木）配置基準改善緊急アピール集会（Zoom）。会員園園長が発言！

同 封 資 料

①こども・子育て政策の強化について（試案）～次元の異なる少子化対策の実現に向けて～より
保育関係施策の部分を抜粋

②こども家庭庁通知

小規模保育事業における 3 歳以上児の受入れについて

コロナ禍 3 年…ひそかな楽しみ♡

新人の先生が

マスクを取った時の顔を

見られる時！